

あいづわかまつ 広報議会

令和5年(2023)
2月1日 No.211

あなたの市政を、あなた自身でたしかめましょう



上手にすべれるかな

目次

第561回会津若松市議会定例会 令和4年12月定例会議

令和4年度一般会計補正予算など可決	P 4
審議結果、賛否一覧	P 9
討論	P10
一般質問	P11

議会からのお知らせ

各委員会行政調査報告	P19
11月臨時会議の結果	P21

特集 第26回市民との意見交換会を開催しました P 2

とうみょう子ども園 雪あそび



子ども達は、園庭の雪山からのそりすべりや先生との雪合戦など、寒さに負けずに元気に雪あそびを楽しんでいました。



第26回

市民との意見交換会を開催しました！

令和4年11月8日から16日まで、市内15会場において市民との意見交換会を開催しました。コロナ禍の影響により、参加人数や開催時間が制限された中での開催となりましたが、15会場で108名にご参加いただき、様々なご意見を伺うことができました。

いただいた意見をもとに、政策課題を見つけ、課題解決に向けて調査研究に取り組んでまいります。

次回は、令和5年5月の開催を予定しております。ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。

開催日	地区名	参加人数	意見交換された主な内容
11月8日	東山	8人	背あぶり山風力発電計画、除雪、道路整備などに対する課題。
	北会津	6人	農道整備、遊水池の管理、東部幹線の整備。
	鶴城	5人	県立病院跡地の利活用、除雪の取組。
11月9日	大戸	11人	除雪への対応、道路整備、今後の大戸地区の活性化に向けた取組。
	行仁	7人	行仁小学校整備に伴う課題、除排雪の課題。
11月10日	門田	4人	道路整備（市道幹I-22号線）、鳥獣被害対策、地域防災、ごみ対策。
	謹教	6人	歩道除雪、児童等のマスク着用、学校給食での地産地消について。
11月11日	一箕	9人	つながりづくりポイント事業、除雪に対する課題、町内会未加入対応。
11月14日	湊	9人	道路整備、集落管理の簡易水道の市への移管、背あぶり山風力発電計画。
11月15日	神指	6人	新橋りょう整備に伴う地区内の道路整備、空き家対策。
	日新	10人	猫への餌まき問題、デジタル田園都市国家構想の市民への浸透、空き家対策。
11月16日	河東	7人	河東地区の認定こども園の整備・運営方針、地域活動を行う上での課題。
	城北	5人	通学路の除雪、交通安全対策、水路の維持管理。
	城西	11人	除排雪の課題、猫への餌まき問題、子ども食堂の運営状況。
	町北・高野	4人	市道幹I-6号線の整備に伴う地区の課題。

の一部を紹介します

防災・安全（空き家対策）

【主な意見等】 倒壊して道路に倒れる可能性がある空き家や、窓が壊れた空き家がある。動物が住み着いていることも確認されているが、対応に苦慮している。
(神指地区会場)

【事後処理結果】 現地確認後に、危機管理課に確認したところ、「両物件ともに把握しているが、様々な課題等もあり、引き続き注視していく。空き家が倒れるなどの緊急時には、危機管理課に連絡してほしい。」との回答を得た。

会場アンケートより一部掲載

活発な意見が出た会であった。このような場は良いと思う。(鶴城地区会場)

参加者が少なすぎる。何か改善はできないか。
(北会津地区会場)

時間があれば、もっと話ができただけだが、コロナの中なので、やむを得ない。
(河東地区会場)

様々な意見に対して対応していただき、大変良かったと思います。
(大戸地区会場)

地域の悩みが聞けて良かった。今後、意見を出せるよう考えるきっかけになりました。
(行仁地区会場)

参加者の声

～意見交換会報告書の 閲覧ができます～

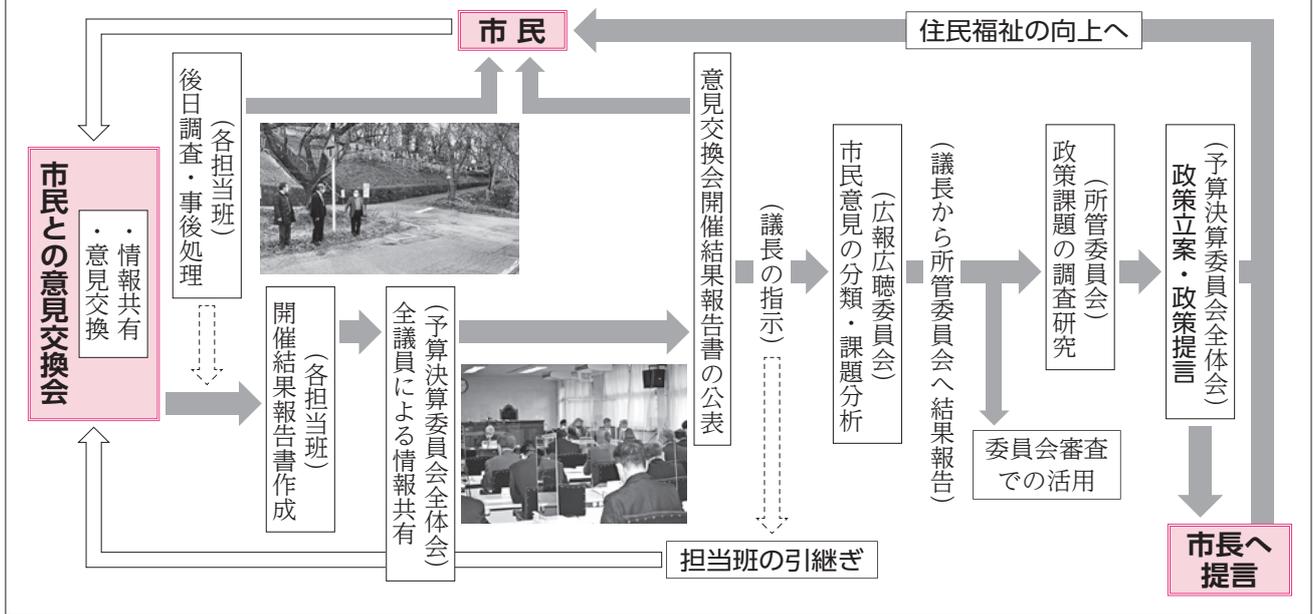
市議会ホームページ、議会事務局、各地区公民館、コミュニティセンター等において各地区の意見交換会報告書を閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

市議会ホームページ



活発な意見交換が行われました（一箕地区）

意見交換会を起点とした議会活動のイメージ



意見交換会でいただいた意見等

環境（ごみ対策）

【主な意見等】 ごみをごみ捨て場まで運ぶのが大変な高齢の方々がいる。全世帯とは言わないが、必要とする世帯だけでも戸別収集ができるといいのではないかと。（門田地区会場）

【議会側の発言内容】 日野市の「一人一人の責任により決まった曜日に、決まった袋で家の前に出す戸別収集」に変えたことが、ごみ減量化成功の一要因になっているといった例も参考にしながら、ごみ問題については今後も取り組んでいかなければならない。

雪害対策（除雪・排雪）

【主な意見等】 歩道の除雪を早くしてほしい。朝7時30分ごろまでにやってもらいたい。（謹教地区会場）

【議会側の発言内容】 除雪の優先路線はあるが、歩道除雪とは連動していない。歩道除雪についても議会として議論を深めていく。

【主な意見等】 排雪が進まなければ、除雪も止まってしまう。排雪は大事だが、夜中に排雪されると騒音が大きく困っている住民がいる。昼に排雪してもらいたい。（城西地区会場）

【議会側の発言内容】 排雪は依頼したとしても、人員確保やダンプの準備のため、すぐには取り掛かれない。そのため、時間指定についても難しい状況になっている。

令和4年度一般会計補正予算など可決

～物価高騰対策経費等について議論～

12月定例会議のあらまし

12月定例会議は、12月1日から16日までの16日間の会議期間で開かれました。

今定例会議では、令和4年度一般会計補正予算や個人情報保護法施行条例などの議案が提出され、本会議での総括質疑後、予算に係る議案は予算決算委員会へ付託され、また、条例改正等の議案、陳情は総務、文教厚生、産業経済、建設の各委員会に付託され、審査が行われました。

なお、最終日の本会議において、令和4年度一般会計補正予算などが追加提案され、職員の給与改定に伴う人件費の調整、県の特別職給与改定に準じた改正措置などについて、本会議で審議が行われました。

今定例会議に提出された議案等とその審議結果は9ページのとおりです。

なお、市政全般にわたる市の考えを問う一般質問では、4名の議員が代表質問、13名の議員が個人質問を行いました。

議案等に対する質疑と審査

議案第78号
令和4年度
一般会計
補正予算
(第9号)

※補正予算の
概要

⇒



新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費

【事業概要】

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、申請期間の延長による給付件数の増加に対応するための経費を予算措置するものです。

○申請受付期限

(変更前) 令和4年9月30日まで
(変更後) 令和4年12月31日まで

【経費内訳】

生活困窮者自立支援金 518万円
事務費等 1万8千円

給付事業にかかる対象者の要件

問 本事業費における対象者の要件について伺う。

社会福祉協議会における緊急小口資金等の特例貸付が終了していることなどが対象者の要件です。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと、

本事業の果たしている役割

であると考えます。

問 生活に困窮している市民への支援として、本事業が果たしている役割について伺う。

答 本事業を活用し、就労等による自立を支援するとともに、生活困窮により申請したものの、本事業の要件に該当しなかった方であっても、申請を契機として、生活サポート相談窓口において継続的な支援につなげること



清掃管理費（一般廃棄物収集運搬許可業者等緊急支援金）

【事業概要】

原油価格の高騰により、車両の運営経費が増大している一般廃棄物収集運搬許可業者等に対する緊急支援に要する経費を予算措置するものです。

【経費内訳】

一般廃棄物収集運搬許可業者等緊急支援金

711万円

※補助単価（1台当たり）

- ①ごみ収集車 3万8千円（対象165台）
- ②し尿くみ取り車 2万8千円（対象30台）

予算計上の理由

問 一般廃棄物収集運搬許可業者等緊急支援金について予算を計上した理由について伺う。

答 原油価格の高騰による一般廃棄物収集運搬許可業者等への影響については、事業者に対しアンケートや聞き取りを行い、実情把握に努めてきたところです。その結果、事業者の経営環境が非常に厳しい状況にあり、緊急支援が必要であると判

学校給食食材購入費

【事業概要】

食材価格の高騰に伴い、学校給食の食材の一部の購入支援を継続・拡充（令和5年3月まで延長）することで、円滑な学校給食の実施を図るための経費を予算措置するものです。

【経費内訳】

需用費（食材費）

791万5千円

保護者負担の抑制見込み

問 学校給食食材購入費による、保護者負担の抑制見込みについて伺う。

答 令和4年度の学校給食費は、1食当たり、小学生300円、中学生350円、幼稚園児260円と定めており、それ以上に食材費が上昇した部分について、本事業により対応するものです。令和4年6月の追加補正予算と本12月補正予算を合せて、小学生1人当たり2510円、中学生1人当たり2894円、幼稚園児1人当たり267

0円の負担抑制になると試算しています。

別掲 要望的意見

物価高騰により生活に困窮する市民への支援について 市は、国の物価高騰対策事業である、住民税非課税世帯に対し1世帯あたり5万円の給付を行う物価高騰緊急支援給付金に加えて、市独自の支援策として、国事業の対象とならない低所得の世帯まで給付対象を拡大する支援措置を講じた経過にある。しかし、コロナ禍における急激な物価高騰は、国事業の対象である住民税非課税世帯、さらに、市独自事業の対象世帯以外の世帯にも、大きな影響を及ぼしており、生活に困窮する世帯が増加している。

市は、物価高騰により生活に困窮する市民の状況を十分に把握し、国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金などの財源を活用し、住民税非課税世帯のみならず、物価高騰の影響を大きく受ける、所得が低い方の生活安定に向けた、市独自の支援策を検討することを強く要望するものである。



※なお、「物価高騰により生活に困窮する市民への支援」について、議会として別掲のとおり、要望的意見を取りまとめ、市長へ提出しました。

総括質疑を行った議員名と項目

- ①大竹 俊哉議員
・会津若松市職員の定年等に関する条例ほか

- ②内海 基議員
・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- ③斎藤 英雄議員
・会津若松市個人情報保護法施行条例ほか

- ④松崎 新議員
・学校維持管理費（令和4年度一般会計補正予算（第9号））ほか

- ⑤原田 俊広議員
・情報公開及び個人情報保護制度運用経費（令和4年度一般会計補正予算（第9号））ほか



道路維持修繕事業および市道舗装整備事業（債務負担行為）

【概要】

早期発注による公共工事の発注時期の平準化を図るため、債務負担行為を設定するものです。

【債務負担行為の限度額】

道路維持修繕事業 4350万円
市道舗装整備事業 2480万円

工事箇所を選定の考え方

問 ゼロ市債を活用した道路維持修繕事業および市道舗装整備事業における、工事箇所を選定の考え方を伺う。

ゼロ市債の活用による工事期間や予算を考慮した上で、市民要望に込められるよう、可能な限り多くの路線を選定し整備しています。

道路維持修繕事業については、道路の損傷度を判断し、損傷の大きい路線について、利用度や緊急度を見ながら選定しています。また、市道舗装整備事業については、幅員や家屋の連担度、利用度などの各項目の評価を点数化して、一定程度の評価点数となった箇所について優先順位を付け選定しています。

図表1 工事施工箇所

①道路維持修繕事業（4路線）

工種	路線名	施工箇所
舗装補修	市道幹 I-6号線	町北町大字上荒久田
	市道幹 I-8号線	飯盛一丁目
	市道幹 I-11号線	城前外
	市道幹 I-12号線	城南町外

②市道舗装整備事業（9路線）

工種	路線名	施工箇所
舗装工	市道若3-319号線	八日町
	市道若4-4号線	一箕町大字八幡
	市道門4-191号線	門田町大字黒岩
	市道門4-207号線	錦町
	市道河3-241号線	河東町広田
	市道河3-242号線	河東町広田
	市道河3-350号線	河東町広田
舗装・側溝工	市道若3-322号線	八日町
	市道門4-439号線	門田町大字飯寺

※1 債務負担行為とは
歳出予算、継続費、繰越明許費に定めた以外に、地方公共団体が債務を負担することを定めたもの。例えば、その年度に契約を締結するものの、支払いは翌年度となる場合は、歳出予算は翌年度の計上となるが、契約する年度に債務負担行為の設定が必要となる。

※2 ゼロ市債とは
施工時期等の平準化を図るため、債務負担行為を設定し、新年度の工事等の入札・契約を前年度に行い、前年度中又は新年度当初の工事着工を可能とするもの。債務負担行為を設定する年度には前払金等の支出はなく（ゼロ）、翌年度以降の支出となることから、「ゼロ市債」と呼ばれる。

議案第84号 令和4年度 会津若松市 介護保険特別 会計補正予算 (第2号)

【概要】

地域支援事業として実施する訪問給食サービス事業の利用増加に伴う委託料の増額について、基金積立金の減額により措置するとともに、職員人件費の調整に要する経費を予算措置するものです。

【経費内訳】

総務費（一般管理費） ▲571万円
地域支援事業費 629万2千円
基金積立金 ▲629万2千円

事業の効果

問 利用者数が増加している訪問給食サービス事業の効果について伺う。

答 本事業は、疾病や障がい等により買い物や調理が困難な在宅のひとり暮らしの高齢者を対象に、弁当を宅配し栄養状態の改善を図るとともに、見守りを行うものであり、利用者の健康保持と、在宅

で安心して生活することに寄与しています。

物価高騰への対応

問 本事業における物価高騰への対応について伺う。

答 物価高騰への対応については、遠隔地への配送に対する加算等を行っているところであり、今後も、受託事業者と協議を行い、必要な対応を検討していきます。

議案第86号 会津若松市 個人情報 保護法 施行条例

議案第87号 会津若松市 情報公開及び 個人情報保護 審査会条例の 一部を改正 する条例

【条例制定の趣旨等】（議案第86号）
個人情報保護の保護に関する法律の一部改正に伴い、条例を制定しようとするものです。

【条例改正の趣旨等】（議案第87号）
会津若松市情報公開及び個人情報保護審査会の所掌事務を見直すため、所要の改正措置を講じようとするものです。

本市制度への影響

問 全国的な共通ルールのもとで個人情報保護制度が運用されることに伴う本市制度への影響と、これに対する市の考え方を伺う。

答 これまで、現行の市情報公開及び個人情報保護審査会条例に基づき、センシティブ情報の収集の可否や、目的の外利用・外部提供の可否、オンライン結合の可否について、当審査会へ諮問し、答申を受けてきましたが、個

人情報保護法改正後は、改正法および国のガイドラインの規定に基づき行われることになるため、これらの事項について、当審査会へ諮問することができなくなりますが、今後、より高い意識で個人情報を守っていくために、国のガイドラインに基づくだけでなく、市独自のガイドラインの策定を検討しており、こうした取組により、現在の本市の個人情報保護水準を維持していきます。

審査会へ 諮問する内容

問 市情報公開及び個人情報保護審査会へ諮問する内容を伺う。

答 個人情報保護法改正後は、国のガイドラインに基づき個人情報保護制度を運用していくこととなりますが、本市の状況を適切に反映するために、運用していく上での細則など

について、市審査会へ諮問していく考えです。個人情報保護制度については、国、市、第三者機関である審査会とで、バランスを取りながら運用していきます。

※3 センシティブ情報とは
思想・信条・人種・犯罪歴・病歴など、特に取扱いに配慮が必要な情報。

〇市個人情報保護法施行条例 主な制定内容

- ① 条例の適用対象となる実施機関について定める。
- ② 実施機関は、個人情報取扱事務登録簿を作成し、公表する。
- ③ 実施機関は、個人情報保護管理責任者を置く。
- ④ 自己情報の開示について、会津若松市情報公開条例における取扱いとの調整を行う。
- ⑤ 自己情報の開示請求に係る手数料の額を無料とする。
- ⑥ 自己情報の開示決定の期限等について定める。
- ⑦ 個人情報の適正な取扱いを確保するため会津若松市情報公開および個人情報保護審査会に諮問を行う事項について定める。

議案第94号 会津若松市 基幹集落セン ターの指定 管理者の指定 について

【概要】
会津若松市基幹集落センターの管理を行う指定管理者に特定非営利活動法人みなと湊まちづくりネットワークを指定しようとするものです。

非公募の理由

問 指定管理者の候補者を非公募とした理由について伺う。

答 指定管理者に指定する団体は公募によるものが原則ですが、令和4年6月定例会において、指定管理者の指定手続の特例として公募を行わないことができる規定を会津若松市農村環境改善施設条例に加えたところであり、地域の実情を熟知し、継続的に地域づくり活動に取り組んでいる組織であること、施設のさらなる有効活用と施設利用者の利便性の向

上期待できることから、当該団体を指定管理者として指定しようとするものです。

施設活用の在り方

問 利用実態のない施設の活用の在り方について伺う。

答 当該指定管理における管理対象施設のうち、テニスコートについては、過去3年の利用実績がほとんどない状態です。今後、どのような活用が可能であるのかを含め、望ましい施設活用の在り方について、指定管理者に指定する団体と協議していきます。

請願・陳情

12月定例会議で審査された陳情（1件）の審査の経過と結果をお知らせします。

特
集

議案等の審査

審議
議否
結一
果覧

討

論

一
般
質
問

お議
会
知
ら
せ
の

案件	陳情内容	所管委員会における審査経過および結果	本会議における審議結果
陳情第6号 住民税非課税世帯への灯油代等暖房費の緊急支援について (陳情者) 会津若松市生活と健康を守る会 会長 田崎 澄子さん	住民税非課税世帯の命と暮らしを守るため、次の事項について、特段の措置を講じてほしい。 1 市は、低年金生活者、障がい者世帯、ひとり親世帯、生活保護利用者などの住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり1万円の灯油代等暖房費を助成すること。	文教厚生委員会の審査において、一部の委員より賛否の意見がありました。 ○反対意見 ・本陳情は、急激に物価が高騰している状況において、住民税非課税世帯への灯油代等暖房費の助成を求めるものであるが、住民税非課税世帯に対しては、既に物価高騰緊急支援給付金が措置されており、加えて灯油代等暖房費を助成することについては十分な検討が必要であり、現時点において、灯油代等暖房費助成の必要性について判断できないことから、本陳情に反対する。 ・コロナ禍における急激な物価高騰は、全市民の生活に影響を及ぼしている。市は、住民税非課税世帯のみならず、納税しながらも既存の支援制度に該当しない困窮する方たちの生活の安定に向けた支援を講じるべきであることから、本陳情に反対する。 ○賛成意見 ・令和3年度は住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり10万円を給付する住民税非課税世帯等臨時特別給付金と併せて、住民税非課税世帯等暖房費助成として1世帯あたり5,000円の給付を行った。令和4年度も、コロナ禍において地域経済は回復しておらず、加えて急激な物価高騰の影響により、市民の生活は一層厳しい状況にある。市民の中でも特に所得が低い住民税非課税世帯において、物価高騰による生活への影響は非常に大きい。このため、住民税非課税世帯に対し、灯油代等暖房費の助成を行うことは必要であると考えことから、本陳情に賛成する。 【審査結果】 本陳情については、賛成少数をもって 不採択 とすべきものと決められました。	不採択



決議とは、議会が行う意思形成行為で、政治的な効果や議会の意思を対外的に表明することが必要であると考えられる場合などに行われます。12月定例会議で可決された決議内容は下記のとおりです。

石田典男議員に対する辞職勧告決議

石田議員の会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員としての行為は整備組合議会100条委員会報告書の判断から、そして会津若松市議会議員としての行為は会津若松市政治倫理審査会報告書の判断から、会津若松市議会としては議員活動の範囲を逸脱していると認定する。

本来であれば、議員は、法律を守り、行政を監視し、評価する議会の構成員であることを鑑みれば、法令違反や入札制度に介入する等の行為は、あってはならないもので、直ちに会津若松市議会議員を辞職すべきであると考えます。

会津若松市議会は、議員全員が責任ある行動をとることにより、住民の負託に応えるべく信頼の回復に努めなければならない。

よって、ここに石田典男議員の辞職を勧告するものである。

12月定例会議に提出された議案等とその審議結果

番号	件名
議案 (33件)	
77	会津若松市議会個人情報保護に関する条例
78	令和4年度会津若松市一般会計補正予算(第9号) (以下第85号までの各会計補正予算は会計名のみ記載)
79	水道事業会計
80	下水道事業会計
81	国民健康保険特別会計
82	観光施設事業特別会計
83	扇町土地区画整理事業特別会計
84	介護保険特別会計
85	後期高齢者医療特別会計
86	会津若松市個人情報保護法施行条例
87	会津若松市情報公開及び個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例
88	会津若松市職員の定年等に関する条例
89	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例
90	会津若松市職員の修学部分休業及び高齢者部分休業に関する条例
91	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

番号	件名
92	会津若松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
97	令和4年度会津若松市一般会計補正予算(第10号)
98	令和4年度会津若松市一般会計補正予算(第11号) (以下第103号までの各会計補正予算は会計名のみ記載)
99	国民健康保険特別会計
100	観光施設事業特別会計
101	扇町土地区画整理事業特別会計
102	介護保険特別会計
103	後期高齢者医療特別会計
104	会津若松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
105	特別職の職員の給与に関する条例及び会津若松市上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例
106	会津若松市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
107	令和4年度会津若松市一般会計補正予算(第12号) (以下第109号までの各会計補正予算は会計名のみ記載)
108	水道事業会計
109	下水道事業会計
以上、原案のとおり可決	

番号	件名
93	財産の取得について (消防ポンプ自動車)
94	会津若松市基幹集落センターの指定管理者の指定について
95	城前団地更新住宅第4棟新築工事請負契約の一部変更について
96	議員の派遣について (県市議会議長会議員研修)
以上、可決	
報告 (1件)	
18	監査の結果報告について
決議案 (1件)	
3	石田典男議員に対する辞職勧告決議
原案のとおり可決	
陳情 (1件)	
6	住民税非課税世帯への灯油代等暖房費の緊急支援について
不採択	

※アミかけ部分が採決で賛否が分かれた案件です。

※アミかけ以外は全会一致による可決等を表しています。

令和4年12月定例会議の賛否一覧

※これ以外の案件等は上記のとおり全会一致で可決等されています。

議案等名	会派名 議員名	議決結果	賛成 反対	市民クラブ		フォーラム会津				創風あいづ		みらい		社民フォ		共産		公明党		社		夢				
				高橋義人	小倉孝太郎	清川雅史	戸川稔朗	石田典男	内海基	長郷潤一郎	古川雄一	中島好路	渡部認	吉田恵三	村澤智	横山淳	目黒章三郎	小畑匠	後藤守江	大竹俊哉	高梨浩	丸山さよ子	松崎新	原田俊広	齋藤基雄	奥脇康夫
議案第86号 会津若松市個人情報保護法施行条例		原案可決	20: 2	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算(第10号)		原案可決	20: 2	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算(第11号)		原案可決	19: 3	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号 会津若松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	15: 7	欠席	欠席	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号 特別職の職員の給与に関する条例及び会津若松市上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	18: 4	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6号 住民税非課税世帯への灯油代等暖房費の緊急支援について		不採択	10:12	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 討は討論がなされた案件

※ 議長(清川雅史)は採決に加わらない

※ 会派名の略称は次のとおり みらい⇒みらいの会 社民フォ⇒社民フォーラム 共産⇒日本共産党会津若松市議団 社⇒社会民主党・市民連合 夢⇒夢クラブ



討 論

討論は、表決の前に議題になっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。なお12月定例会議で討論があったものすべてを掲載しています。

特
集

議案等の審査

審
議
否
結
一
果
覧

討

論

一
般
質
問

お
議
会
知
ら
せ
の

議案第86号 会津若松市個人情報保護法施行条例

反対

齋藤 基雄 議員 

本案は、国と自治体の個人情報保護制度が一体化されるための具体的措置であり、本市が実施している個人情報利活用の制限を緩和するものである。市は個人情報の取扱いに関する運用上の細則を定め個人情報保護を図る考えだが、国の方針の下で行う個人情報の保護の取組みには限界があると考えことから、本案に反対する。

議案第97号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第10号）

反対

齋藤 基雄 議員 

本案歳出の部に計上のマイナンバーカード電話窓口業務委託料は、マイナポイント付与期限の延長と、健康保険証とマイナンバーカードを統一するとの大臣発言の影響で窓口業務対応が切迫し必要となった経費である。強制的に全国民にマイナンバーカードを持たせるなど、係る事態を招いた政府方針は容認できないため、本案に反対する。

議案第98号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第11号）

議案第104号 会津若松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

議案第105号 特別職の職員の給与に関する条例及び会津若松市上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例

反対

齋藤 基雄 議員 

現下の物価高騰、原油高騰の中で低所得世帯の生活は大変厳しい状況である。その陳情に反対、否決をしながら、議員や特別職の給与増額を決めることは、市民から議員や特別職の「お手盛りだ」と言われても仕方のないものである。今回の改定は見送るべきと考えることから、議案第98号、同第104号、同第105号の3案件に反対する。

議案第104号 会津若松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

反対

内海 基 議員 

新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響で苦しい生活を強いられている市民が多数おり、また、本市では不祥事が発覚しており、議会は行政の監視役であることを考えれば、この状況で議員報酬等の引き上げは市民の理解を得られない。市民からの信頼を回復する前に議員報酬引き上げはできないと考えるため、本条例に反対する。

陳情第6号 住民税非課税世帯への灯油代等暖房費の緊急支援について

賛成

齋藤 基雄 議員 

本陳情は、異常な物価上昇の下、灯油代等暖房費を住民税非課税世帯に1世帯1万円の緊急支援を求めるものである。昨年は国の給付金に市独自に5千円の上乗せがあったが、今年は昨年以上の物価高騰、燃料費高騰である。1万円の上乗せを求める陳情の趣旨は当然であり、本陳情に賛成する。

一般質問

会派を代表し市政を問う

代表質問

◆フォーラム会津…………… P 12

内海 基議員

2歳児までの保育料支援の拡充を

◆市民クラブ…………… P 12

戸川 稔朗議員

元職員による公金詐取の原因は

◆創風あいづ…………… P 13

吉田 恵三議員

出店希望者へ新たな支援策検討を

◆社民フォーラム…………… P 13

松崎 新議員

誰もが安心して相談できる体制を

個人質問

生活・環境

高梨 浩議員…………… P 14

ごみ減量の目標達成は可能か

斎藤 基雄議員…………… P 14

風力発電事業への地元意見は

健康・福祉

原田 俊広議員…………… P 14

健康保険証との一体化への認識は

村澤 智議員…………… P 15

貯筋通帳を活用して健康増進を

譲矢 隆議員…………… P 15

広田保育所民営化への市民意見は

産業・経済

長郷潤一郎議員…………… P 15

会津若松市の新規就農者の状況は

建設・都市計画

成田 芳雄議員…………… P 16

未執行の要望に対する取組は

教育・文化

高橋 義人議員…………… P 16

休日の部活は受益者負担の対象か

渡部 認議員…………… P 16

児童・生徒数に対する認識は

小畑 匠議員…………… P 17

鼓笛隊パレードに予備日設定を

小倉孝太郎議員…………… P 17

学力向上対策の取組を行うべき

行・財政

大山 享子議員…………… P 17

市のジェンダー平等への考えは

古川 雄一議員…………… P 18

令和5年度予算編成方針を示せ

12月定例会議の一般質問は、12月5日から7日まで行われ、4名の議員が会派を代表して質問をする代表質問を行い、13名の議員が個人質問を行いました。その主な内容を、一人一項目とし、代表質問は登壇順（質問順）に、個人質問は分野別に掲載しました。

一般質問は、市政全般の事務事業について市の方針をただすものです。定例会議録画映像のトップページはこちらから



フォーラム会津

渡部 認 中島好路
古川雄一 長郷潤一郎
内海 基



代表質問者
内海 基 議員



2歳児までの保育料支援の拡充を

多子軽減策の対象範囲拡大を検討

問 子育て世帯への経済的支援が実施されていますが、その効果をどのように分析していますか。

答 平成30年に実施したニーズ調査において、子育てに関して不安や負担に思う理由として「子育てで出費がかさむ」が回答の約44%を占めています。市独自の多子軽減策および国による幼児教育・保育の無償化により、経済的負担の軽減につながり、子育て世帯の不安や負担の軽減が図られていると認識しています。

問 0歳から2歳児のいる家庭への経済的支援が必要と考えますが、



市では、多子世帯の利用者負担額（保育料）の軽減を図っています。

問 保育料の無償化や多子軽減策の対象拡大の検討状況を示してください。

答 市独自の施策による利用者負担額の無償化は、0歳から2歳児の教育・保育施設の利用が約半数程度であり、

施設利用の有無で公平性を保てず、また、財政面での課題もあるため、まずは、多子軽減策の対象範囲の拡大を検討しています。

市民クラブ

石田典男 戸川稔朗
清川雅史 小倉孝太郎
高橋義人



代表質問者
戸川 稔朗 議員



元職員による公金詐取の原因は

組織的なチェック体制に問題あり

問 公金詐取事件の概要を伺います。

答 平成19年4月から重度心身障がい者医療費助成金や児童扶養手当等について巨額の公金を詐取していました。

問 本事件の原因、再発防止策および今後の対応を伺います。

答 本事件の原因は、組織的なチェック体制に問題があったと認識しており、今後は内部統制を強化する仕組みづくりを進め順次制度の導入を行います。再発防止策としては、関係部署による検討会議を設置し、検討作業を進めています。また、市の全ての支出事務の中から、本事件と同様

の手法で詐取が可能な63事務を抽出し、令和3年度の決算を対象に調査を進めており、令和4年度中に完了させる考えです。

問 公務員倫理等の徹底と職員の士気に対する認識を伺います。

答 公務員倫理等の職員研修など服務規律の確保に努めてきましたが、今後は、さらにコンプライアンス意識を向上させることができるよう取組を強化し、二度とこうした事件が起きないように、職員の意識高揚に努めます。



市では、原因究明と事務手続きの再点検を進めています。

創風あいつ

目黒章三郎 横山 淳
村澤 智 吉田恵三

出店希望者へ新たな支援策検討を

〔答〕 状況に応じた支援策を検討する

〔問〕 本市の観光におけるデータ分析やマーケティング等の課題を示してください。

〔答〕 課題としては、近年の旅行動態の急速な変化等に対応するため、ターゲットを絞り込み、ニーズに合ったきめ細かなデータの収集や分



現在の神明通りの様子



代表質問者
吉田 恵三 議員



析が必要であり、旅行前の動態を予測し、事前にその需要に対応する必要があると認識しています。マーケティングは、幅広く収集したデータの分析結果をもとに会津若松観光ビュローが中心となり商品開発や広告宣伝等

が行われており、多様なニーズに対応していく必要があると認識しています。

〔問〕 商店街への出店希望者に対する新たな施策の必要性を伺います。

〔答〕 商店街の活性化に向け出店希望者の売上創造や事業継続のための新たな施策が必要であると認識しています。これまでも、創業に関するセミナーや個別相談等を行っていますが、今後はさらに出店希望者の事業計画や熟度などの状況に応じた支援策について検討していきます。

社民フォーラム

松崎 新 丸山さよ子
高梨 浩

誰もが安心して相談できる体制を

〔答〕 円滑な相談・支援体制を推進する

〔問〕 生活困窮者の自立支援は、低所得者対策だけではなく、困難を有する誰もが安心して相談できる、寄り添い型の相談窓口体制の充実を強めることが必要ではありませんか。また、相談支援員等の知識や技量が重要ですが、スキルアップや庁内外の関係機関との連携をどのように進めているのか示してください。

〔答〕 様々な困難を抱えた方々からの相談は、「生活サポート相談窓口」を中心に担当部署や関係機関との連携による包括的な支援に努めています。相談窓口の支援員等は、業務を通じた知識や技能の習

得のほか、国や県などが実施する養成研修等を活用し、専門性の向上を図っています。また、庁内関係部署で構成する「生活困窮者自立支援庁内連携連絡会議」や外部の関係機関

等で構成する「生活困窮者支援調整会議」、さらには「ひきこもり支援連絡会議」や社会福祉協議会との合同相談窓口等を通じ、円滑な相談や支援体制の推進に努めています。



代表質問者
松崎 新 議員



生活や仕事のこと ひとりで悩まずにご相談ください!!

生活サポート相談窓口のご案内

こんなことで悩んでいませんか?

- 失業して、仕事もなかなか見つからないし、収入が足りなくて生活が厳しい。
- 借金の整理ってどうしたらいいの?
- 家族も困っているけど子どもの学習費も心配。
- 家族がひきこもっていて心配。
- 病院に行きたいけど医療費が払えない。
- 家計の収支について心配、簡単に相談してみたい。

まずは、来所またはお電話でご相談ください。
地域福祉課内（栄町第二庁舎）
TEL. 23-4800



社民フォーラム
高梨 浩 議員



ごみ減量の目標達成は可能か

問 目標達成に向け全力で取り組む

答 目標達成に向け全力で取り組む

問 生ごみや木、竹、わらを分別回収し、資源化対策を図る取組を検討すべきではないですか。

答 生ごみ等の資源化は、市民の意識醸成や受入体制の構築等、課題が多いものと認識しています。

問 新ごみ焼却施設の建設に当たっては、ごみ削減率によって市の負担額が変わります。本市のごみ減量化施策への財政負担の必要性和妥当性について考えを示してください。

答 新ごみ焼却施設建設に伴う本市負担額は、約77億円から85億円と試算が示されています。ごみ減量の状況が本市

負担額に大きく影響することから、ごみ減量化の費用対効果や課題を検討しながら、取組の強化や拡充を図っていきます。

問 1日当たりの燃やせるごみの排出量については、令和3年度の105トンと令和7年度の82トンまで減量するとしています。現在の施策では達成困難ではありませんか。

答 目標達成には、さらなるごみの減量が必要であり、達成に向け全力で取り組みます。

問 建設予定地の3町内会が、国・県・市に提出している要望内容と市の対応を伺います。

答 要望書には、生活環境と健康の悪化、野生生物や地域活性化の取組への影響、土砂災害のリスク増大などへの懸念が示され、市は事業者に対し、令和3年5月に、住民への十



日本共産党会津若松市議団
齋藤 基雄 議員



風力発電事業への地元意見は

問 住民意向を前提に可否を判断する

答 この事業計画は、湊町で出力が約4200キロワットの風力発電機を5基建設するもので、建設予定地は、当初案の西側に位置する国有林内への変更を検討中と聞いています。

問 建設予定地の3町内会が、国・県・市に提出している要望内容と市の対応を伺います。

答 林野庁の国有林野の貸付では、住民の理解や意向を前提とし、市において同意の可否を判断することになると考えています。

問 国有林野の借地に係る市長同意の可否判断では、地元の意見を必須とすべきではないですか。

答 林野庁の国有林野の貸付では、住民の理解や意向を前提とし、市において同意の可否を判断することになると考えています。

その他の質問
▽インボイス制度への対応



日本共産党会津若松市議団
原田 俊広 議員



健康保険証との一体化への認識は

問 国の検討状況を注視していく

答 国は、現在使われている健康保険証を令和6年の秋に廃止し、マイナンバーカードへ一体化するとしています。国に対し、一体化は止めるべきとの意見を挙げるべきだと考えますが認識を示してください。

問 国は、現在使われている健康保険証を令和6年の秋に廃止し、マイナンバーカードへ一体化するとしています。国に対し、一体化は止めるべきとの意見を挙げるべきだと考えますが認識を示してください。

問 本市でマイナンバーカードを保険証として使用できる医療機関は、令和4年11月13日現在37カ所あります。

問 マイナンバー法の規定では、マイナンバーカードの取得は任意としていますが、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されれば、マイナンバーカードの取得は国民への強制となり、法に違反すると考えます。市とし

問 国は、現在使われている健康保険証を令和6年の秋に廃止し、マイナンバーカードへ一体化するとしています。国に対し、一体化は止めるべきとの意見を挙げるべきだと考えますが認識を示してください。

問 マイナンバー法の規定では、マイナンバーカードの取得は任意としていますが、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されれば、マイナンバーカードの取得は国民への強制となり、法に違反すると考えます。市とし

その他の質問
▽新型コロナウイルス感染症の対策



創風あいつ
村澤 智 議員



貯筋通帳を活用して健康増進を

問 先進事例を参考に研究していく

人間は、50代から筋肉量が減少し、また、運動習慣のない人は、入院時にそのまま介護状態になる確率が高いとされています。特に高齢者は、寝たきりにならないよう普段から筋肉を蓄える運動の取組が大切と考えますが認識を示してください。

答 本市では、通いの場で継続的に運動を行うことができる環境づくりを進めています。今後は、通いの場に集まるのが難しい方を対象に、貯筋通帳の活用等、個人での運動の継続を支援する取組について、先進事例を参考に研究していきます。

問 他自治体には、貯筋通帳というすべての人が気軽にできる取

※貯筋通帳とは
道具がなくてもできる筋力トレーニングを毎日行うことで、筋肉をためる運動を貯筋運動と言い、貯筋通帳は、それを記録し可視化するための手帳のこと。



社会民主党・市民連合
譲矢 隆 議員



広田保育所民営化への市民意見は

問 不安や公立を求める声がある

問 河東地区幼保連携型認定子ども園の整備・運営方針についての意見交換会や子ども子育て会議が開催されました。どのような意見がありましたか。

答 公立施設は、市全体の教育・保育の充実に寄与する役割を担う必要があり、今後は量から質の転換も求められるため、体制の確保は急務であると認識しています。

問 河東地区の認定子ども園を民営化する必要性や緊急性はあるの

答 公立施設の今後の在り方の決定後、財源確保も含めた検討を進めていきます。



フォーラム会津
長郷 潤一郎 議員



会津若松市の新規就農者の状況は

問 新規就農者は5年間で37人です

問 市の新規就農者の状況と将来の農業者人口の見通しを示してください。

答 平成29年度から令和3年度の5年間ににおける新規就農者数は、それぞれ13人、8人、6人、7人、3人の合計37人です。また、2020年農林業センサスによると、本市の農業就業人口は3064人で、前回2015年の3682人と比較すると618人減少しており、高齢化や少子化の進行により、今後とも農業者数の減少は続くものと認識しています。

問 新規就農者の構成を示してください。

答 過去5年間において

その他の質問
▽マイナンバーカードの普及促進と活用他

※農林業センサスとは
農林水産省が農林行政を推進するため、5年ごとに農林業を営むすべての農家や林家、法人を対象に行う調査のこと。

特集

議案等の審査

審議結果

賛否一覽、討論

一般質問(個人)

議会からのお知らせ



夢クラブ
成田 芳雄 議員



未執行の要望に対する取組は

問 要望者と協議し対応する

答 令和3年度の決算

において、市民から寄せられた道路整備等の執行と未執行の内容を示してください。

問 執行総件数は56件

で約1億6400万円の整備を行い、未対応件数は721件で概算工事額は約45億円です。

問 市建設部では、市民要望をどのように保存・管理していますか。

答 電子データとして保存しており、取り下げが無い限り継続して対応を検討しています。

問 未執行の要望事項は、執行できますか。

答 担当課に対し、10年以上執行していない要望者宅を訪問し、対応を協議するよう指示

しているところです。

問 令和3年度の除排雪事業において、市民から寄せられた要望や苦情の件数を伺います。

答 除排雪に対する要望や苦情は、1987件寄せられました。

問 令和3年度に市の除排雪作業マニュアルのとおり区長らと協議し、除雪作業打合わせ記録簿を市に提出した業者数を伺います。

答 市内にある507の地区町内会のうち125地区で打合せを行いました。

教育・文化



市民クラブ
高橋 義人 議員



休日の部活は受益者負担の対象か

問 休日の部活動は公費で運営したい

答 少子化により減少

傾向にある運動部活動の現状と課題を伺います。

問 部活動数は減少傾向にあり、専門的な指導を行う教員不足などの課題が挙げられます。

答 部活動の指導には、技術力や指導力を有する外部人材が必要ではありませんか。

問 外部人材の確保は課題として認識しており、報酬や諸条件をご理解いただいた上でお願いしていく考えです。

問 外部人材の人的費や管理費等の継続的な予算確保が課題と考えますが認識を伺います。

答 適正な指導料、管理運営費等、継続的な

財源の確保に努めます。

問 部活動を外部に委託した場合のトラブルやケガ等の事故発生時の対応を伺います。

答 まずはその場の指導者がすぐ対応し、各学校と教育委員会が継続して対応します。

問 休日の部活動が受益者負担の対象となることへの認識を伺います。

答 地域の方が指導を行うことになった場合でも、受益者負担を求めない考えです。



フオーラム会津
渡部 認 議員



児童・生徒数に対する認識は

問 令和10年度には約1割減の見込み

答 平成以降の児童・

生徒数と学級数の推移を伺います。

問 市町村合併直後の平成17年度と令和4年度の比較では、小学校の児童数は7971人から5506人に、学級数は315クラスから265クラスに、中学校の生徒数は4393人から2807人に、学級数は155クラスから113クラスと減少傾向にあります。

問 少子化による児童・生徒数の今後の見込みに対する認識と課題を伺います。

答 令和4年度の児童・生徒数8313人に対して、令和10年度には7392人となり、

約1割程度減少する見込みであり、各学校における適正規模の維持が困難になるなどの課題があると認識しています。

問 選択学区内での児童・生徒の動向を伺います。

答 現在、選択学区内に居住する約1000人の児童・生徒のうち、約350人が選択校に就学しています。

その他の質問

▽文化財の保存と活用





みらいの会
小畑 匠 議員



鼓笛隊パレードに予備日設定を

問 各学校の要望等を踏まえ検討する

問 令和4年度の鼓笛隊パレードが中止された経緯と予備日を設けなかった理由を示してください。

会津まつりを彩る大きなイベントであり、そこに参加する経験は子どもたちを大きく成長させると考えています

問 会津まつり実行委員会童子パレード班による協議の中で、あらかじめ定められたマニュアルに基づき、天候を考慮し中止の決定をしました。予備日については、童子パレード班会議で、感染症の影響により学校行事の調整が困難という理由から設定しないことを決定したと伺っています。

会津まつりの要請については、全小学校の日程調整や各関係機関との調整に加え、各学校の実情や要望等も踏まえ、慎重に検討していきます。

その他の質問

▽市民要望

▽学校運営

問 次年度以降は、実行委員会に対し予備日を設けるよう要請すべきではないですか。

答 鼓笛隊パレードは、



市民クラブ
小倉 孝太郎 議員



学力向上対策の取組を行うべき

問 実情に応じた授業改善に取り組む

問 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果を見ると、平成28年度から令和4年度までにおいて全国平均と比較した本市の値が、小学6年生と中学3年生のどちらも令和4年度が一番低いことから、早急な学力向上対策を行うべきと考えますが、取組を伺います。

など、これまでの取組を見直し、自校の結果の分析を教科指導の改善や指導計画に反映させながら、学力向上への取組を進めているところでは。

問 ICT機器導入による学力向上への効果

答 動画等の活用による興味・関心の喚起や、議論の活性化等、授業や指導に効果的に活用することで学力の向上につながると認識しています。

問 教育委員会として今回の調査結果を重く受け止め、学校の実情に応じた授業改善のための助言や支援が必要と考え、授業づくりを支援するための個別の学校訪問を実施しています。また、チャレンジテストのより効果的な実施方法を検討する

※チャレンジテストとは
市独自の学力調査で、令和元年度より、市内全ての小学5年生(算数)と中学2年生(英語)を対象に実施している。



公明党
大山 享子 議員



市のジェンダー平等への考えは

問 男女共同参画社会への理解促進を

問 ジェンダー平等とは、性別にかかわらず平等に責任や権利や機会を分かち合いあらゆる物事を一緒に決めることですが、市の課題認識を伺います。

制度の導入に対する認識を伺います。

問 性別による固定的な役割分担意識や男女の地位の不平等感が、生きづらさにつながることから、市民の男女共同参画社会に対する理解を深め定着させていくために、ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の活躍促進、政策・方針決定過程の場への女性の参画など、関係機関と連携・協力し推進する必要があります。と認識しています。

制度は、自治体が発行する二人の関係性を認める証明書の提示等により、様々な公的サービスを利用でき、全ての方が自分らしく暮らせる社会への有効な取組の一つであると認識しています。制度の導入は、理解促進や意識啓発に取り組みながら、研究していきます。

その他の質問

▽出産・子育て支援

▽予防接種

問 パートナースhip





フォーラム会津
古川 雄一 議員



令和5年度予算編成方針を示せ

問 物価高騰対策など課題に向け検討

答 令和5年度の物価高騰対策とその予算規模を示してください。

問 国の第2次補正予算や令和5年度予算における地方への財源措置等を見極め、国と歩調を合わせながら効果的な事業展開となるよう検討していきます。

問 デジタル田園都市国家構想に係る来年度の取組について、事業と予算規模、またその財源を示してください。

答 データ連携基盤を有効に活用し、新たなサービスの追加を検討しています。予算規模は、令和4年度のような規模にはならず、財源としては、国から新たに示されている交付

金等に注視し、検討を進めていきます。

問 自主財源を増やしていく取組を伺います。

答 ふるさと納税の推進のため、返礼品を取り扱うポータルサイトや体験型返礼品の追加等に取り組んでいます。

問 令和3年度の約42億円の黒字は基金に積み立てられましたが、市民に還元すべきではありませんか。

答 令和3年度決算剰余金は、基金の目的に沿って有効に活用していきます。

傍聴者インタビュー

12月6日(火)の市議会定例会議(一般質問)を傍聴されたあいつわくわく学園の皆さんに感想を伺いました!



あくつ ちかこ
阿久津 チカ子さん

市議会議員選挙に一票を投じれば、義務を果たしたつもりであり、私には無縁と思っていた市議会を、初めて傍聴してきました。

傍聴に際し、12月定例会議の一般質問の内容をみると、数々の事案や、これから起こり得る諸問題の提起が、詳細に記載されていることに驚きました。また、議員の質疑に対する市側の答弁は、明確なものや検討中のものなどありましたが、真摯に答えていたと感じました。一方で、質疑時間が少し長く感じました。

短い時間の傍聴でしたが、議会が厳かに、粛々と進められていたことが印象に残りました。



ほしの おさむ
星野 修さん

初めて市議会を傍聴しました。私達が選挙で投票した議員が、主戦場である市議会で市政のチェックや公約実現のため、何を質問されるのか興味を持っていました。

ただ、市民目線に沿った具体的な内容を質問されており、前もって詳細に調査されていることが良く分かりました。

今回は残念ながら議場が仮庁舎で職員室のような所でしたので、本庁舎が建て替えられた際は、本来の議場で再度傍聴したいと思いました。

市議会の傍聴について

本市議会の定例会議は、年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。

新庁舎整備に伴い、令和4年6月定例会から、議場は追手町第二庁舎(旧会津学鳳高校)1階に移転しました。

傍聴の際には、マスクの着用や検温、手指のアルコール消毒にご協力をお願いします。なお、10名以上で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

また、定例会議や臨時会議等の映像をユーチューブライブでも配信していますので、ご活用ください。

【議会事務局：TEL 39 - 1323】



議会映像配信についてはこちらをご覧ください。

各委員会行政調査報告

様々な行政課題の解決や議会運営について、委員会ごとに他自治体を調査しています。
令和4年度の各委員会の調査の主な内容は次のとおりです。

総務委員会

[令和4年10月18日・19日]

◇兵庫県西宮市

・地域公共交通に関する取組

◇兵庫県明石市

・市民協働のまちづくり組織に関する取組

○調査結果

西宮市では、コミュニティ交通への支援内容や補助等の取組を調査しました。



利用促進に向けて、地域と共に取り組んでいく重要性を、改めて認識しました。

明石市では、地域の人たちが主体的にまちづくりに取り組んでいけるよう、まちづくり計画書の策定に係る支援や、使い勝手の良い交付金、地域事務局機能を支援する補助金等の交付を行っていました。地域の実情に応じた支援について、検討を進める必要があると考えています。

文教厚生委員会

[令和4年10月19日・20日]

◇東京都日野市 ・ごみ減量化の取組

◇埼玉県戸田市 ・学習環境整備の取組

○調査結果

日野市では、各家庭から直接収集するごみ戸別収集、ごみ処理の有料化、ごみの資源化の推進、市民への啓発などに取り組み、大幅なごみの減量化を達成していました。



戸田市では、「誰一人取り残さない教育」を目標に掲げ、スクールカウンセラーなどによる相談体制の充実、不登校の子どもたちへのきめ細かな支援、民間企業等と連携した多様な学びの実践など、教育環境の充実に力を入れていました。児童生徒の学習環境の充実に向け、引き続き調査研究を進めます。

産業経済委員会

[令和4年10月26日・27日]

◇愛知県岡崎市 ・工業団地造成の取組

◇静岡県熱海市 ・観光振興の取組

○調査結果

岡崎市では、工業団地の造成に際し用地が不足する中で、市街化調整区域に誘導する取組や、民間能力を活用して工業団地を造成する取組が行われていました。

熱海市では、徹底した観光マーケティングにより、計画性に優れた観光振興の取組や、民間主導による観光まちづくりなどの取組が奏功し、奇跡のV字回復といわれる財政危機からの脱却を成し遂げました。

本市と似た課題の解決に挑む両市の取組を参考としながら、本市の観光・産業振興に向けて、引き続き調査研究を進めていきます。



建設委員会

[令和4年10月18日・19日]

◇東京都府中市

・インフラマネジメント計画および道路等包括管理事業

◇千葉県千葉市

・「ちばレポ」を活用した市民協働による道路等の課題解決の取組

○調査結果

府中市では、60以上あった道路管理業務を3つにまとめ、民間に委託することで、管理費用の節減やきめ細やかな道路管理を実現していました。

千葉市では、スマートフォンで市民の方が道路等の異常を投稿し、対応状況などを公開・共有する仕組みを視察しました。

引き続き、市民要望に応えられる道路管理のあり方について、調査研究を進めていきます。



令和4年中の本会議および委員会等の開催状況

区分	会期	会議日数	会議時間	一般質問者数	質疑者数	傍聴者数
2月定例会	2/24~3/22	27日間	7日間	24時間46分	20人	6人
6月定例会	6/9~6/24	16日間	6日間	18時間49分	17人	5人
9月定例会議	9/1~9/29	26日間	6日間	24時間20分	20人	6人
12月定例会議	12/1~12/16	16日間	6日間	23時間39分	17人	5人
計		85日間	25日間	91時間34分	74人	22人
2月臨時会	1/5	1日間	1日間	1時間02分	-	6人
3月臨時会	3/30	1日間	1日間	27分	-	2人
4月臨時会	4/19	1日間	1日間	33分	-	2人
5月臨時会	5/16	1日間	1日間	1時間12分	-	-
5月臨時会	5/30	1日間	1日間	57分	-	3人
7月臨時会	7/5~7/8	4日間	2日間	2時間40分	-	5人
8月招集会議	8/8	1日間	1日間	25分	-	-
11月臨時会議	1/15	1日間	1日間	1時間03分	-	3人
計		11日間	9日間	8時間19分	-	21人
合計		96日間	34日間	99時間53分	74人	43人

区分	会議日数	会議時間
総務委員会	5日	8時間18分
文教厚生委員会	6日	9時間23分
産業経済委員会	3日	2時間18分
建設委員会	7日	7時間37分
予算決算委員会	11日	8時間41分
第1分科会	13日	57時間
第2分科会	13日	61時間02分
第3分科会	13日	59時間09分
第4分科会	13日	46時間43分
理事会	6日	14分
議会制度検討特別委員会	2日	4時間47分

区分	会議日数	会議時間
総務委員会協議会	8日	9時間33分
文教厚生委員会協議会	13日	16時間48分
産業経済委員会協議会	6日	4時間
建設委員会協議会	6日	3時間48分
審査準備会		
第1分科会	4日	2時間24分
第2分科会	4日	2時間16分
第3分科会	2日	1時間15分
第4分科会	3日	1時間35分
スーパーシティ構想に関する調査会 (スマートシティ総合調査会含む)	10日	16時間58分

区分	会議日数	会議時間
議会運営委員会	56日	22時間04分
議員全員協議会	6日	3時間48分
各派代表者会議	32日	14時間14分
広報広聴委員会	24日	45時間35分
※政策討論会		
全体会	-	-
第1分科会	3日	3時間49分
第2分科会	8日	5時間07分
第3分科会	7日	3時間22分
第4分科会	2日	1時間30分
議会制度検討特別委員会	5日	8時間42分

※ 令和4年8月から、政策討論会各分科会は予算決算委員会各分科会に、議会制度検討委員会は特別委員会に移行しました。

議会の動き

(令和4年10月~12月)

10月

- 6日 ● 各派代表者会議
- 7日 ● 広報広聴委員会
- 7日 ● 予算決算委員会第2分科会
- 11日 ● 議会運営委員会
- 12日 ● 予算決算委員会第4分科会
- 14日 ● 広報広聴委員会
- 14日 ● 産業経済委員会第3分科会
- 21日 ● 各派代表者会議
- 21日 ● 産業経済委員会協議会
- 21日 ● 各派代表者会議
- 21日 ● 予算決算委員会第2分科会
- 28日 ● 文教厚生委員会協議会
- 28日 ● 議会制度検討特別委員会
- 28日 ● 各派代表者会議
- 28日 ● 総務委員会協議会

11月

- 2日 ● 議会運営委員会
- 4日 ● 議会運営委員会
- 7日 ● 各派代表者会議
- 8日 ● 予算決算委員会第4分科会
- 8日 ● 市民との意見交換会
(15地区) ~ 16日まで
- 9日 ● 令和4年11月臨時会議
- 9日 ● 各派代表者会議
- 11日 ● 各派代表者会議
- 11日 ● 議員全員協議会
- 11日 ● 予算決算委員会第3分科会
- 14日 ● 予算決算委員会第2分科会
- 14日 ● 文教厚生委員会協議会
- 15日 ● 各派代表者会議

12月

- 1日 ● 12月定例会議招集日
(日程は4ページを参照)
- 8日 ● 議会運営委員会
- 8日 ● 議会運営委員会
- 8日 ● 文教厚生委員会協議会
- 12日 ● 議会運営委員会
- 14日 ● 産業経済委員会協議会
- 14日 ● 広報広聴委員会
- 16日 ● 文教厚生委員会協議会
- 16日 ● 議会運営委員会
- 16日 ● 広報広聴委員会
- 26日 ● 議会制度検討特別委員会
- 26日 ● 議会制度検討特別委員会
- 26日 ● 予算決算委員会第1分科会
- 27日 ● 予算決算委員会第4分科会
- 27日 ● スマートシティ総合調査会
- 18日 ● 議会運営委員会
- 18日 ● スーパーシティ構想に関する調査会
- 21日 ● 各派代表者会議
- 24日 ● 議会運営委員会



第561回会津若松市議会定例会 令和4年11月臨時会議

物価高騰対策経費等を 全会一致で可決

新型コロナウイルス感染症および物価高騰対策に伴う経費やふるさと寄附金に要する経費として、11億4,297万2千円の補正予算が提出され審議が行われました。物価高騰緊急支援給付金給付事業における事業費の積算根拠、給食食材費支援にかかる上限設定や対象期間の考え方などについて質疑応答がなされましたが、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案等の内容

- 議案第76号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第8号）11億4,297万2千円
【補正予算の概要】



物価高騰緊急支援給付金給付事業費
(9億3,802万円)
住民税非課税世帯および低所得世帯等への緊急支援給付金の給付に要する経費。

地域医療介護総合確保基金事業補助金
(70万8千円)
高齢者施設における感染拡大防止に資するゾーニング環境等整備の支援に要する経費。

子ども・子育て支援事業費 (3,680万円)
保育所等における光熱水費および給食食材費の価格高騰に対する支援に要する経費。

子育て世帯物価高騰緊急支援給付金給付事業費
(3億6,461万7千円)
子育て世帯への緊急支援給付金の給付に要する経費。

ふるさと寄附金に要する経費 (2,217万円)
寄附受入の増加および寄附促進に要する経費。

※外に、財政調整基金積立金の減額
(▲2億1,934万3千円)

- 選挙第2号 会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員の選挙
【結果】 中島 好路

令和5年2月定例会議の日程

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24	25
			開会日 (提案理由説明)			
26	27	28	3/1	2	3	4
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (総括質疑)	本会議 (総括質疑) 予算決算委員会	
5	6	7	8	9	10	11
	総務委員会 産業経済委員会 予算決算委員会 (第1・第3分科会)	文教厚生委員会 建設委員会 予算決算委員会 (第2・第4分科会)	総務委員会 産業経済委員会 予算決算委員会 (第1・第3分科会)	文教厚生委員会 建設委員会 予算決算委員会 (第2・第4分科会)	総務委員会 産業経済委員会 予算決算委員会 (第1・第3分科会)	
12	13	14	15	16	17	18
		文教厚生委員会 建設委員会 予算決算委員会 (第2・第4分科会)		予算決算委員会		
19	20	21	22	23	24	25
	最終日 (委員会審査報告～表決)					

※ 本会議は午前10時から、委員会は午前9時30分から開催されます。
なお、日程は変更になる場合があります。
最新の情報はホームページなどでご確認ください。



**点字広報議会
声の広報議会**

- 点字版広報議会、声の広報議会も発行しています。ご希望の方は議会事務局までお知らせください。
- 声の広報議会は市議会ホームページでも聞くことができます。

エフエム会津

● 「市役所情報スタジオ」で市議会の情報を発信しています。

FM 76.2MHz

放送日 2月21日(火)
午後1時45分～午後2時

※再放送は、
同日午後6時45分～午後7時

広報議会モニターが決まりました!

市民の皆様のご協力により、48名の広報議会モニターが決定しました。

モニターの皆様には、広報広聴委員会の依頼に応じて「あいづわかまつ広報議会」の内容等についてのアンケートに回答していただきます。いただいた意見は、より読みやすく、わかりやすい広報議会の紙面づくりの参考といたします。



広報議会モニター（48名）の構成

一般公募枠		4名
団体推薦枠		44名
内 団 体 推 薦 訳	教育・産業経済団体等	22名
	高等学校・大学	16名
	地域づくり団体	6名

※モニターの任期は、令和4年12月16日から令和6年3月31日まで

マニフェスト大賞

最優秀議会改革賞を受賞

令和4年11月11日に六本木アカデミーヒルズ（東京都港区）で行われた第17回マニフェスト大賞授賞式において、本市議会が応募した「市民意見を起点とし「課題解決」につなげる政策サイクルのさらなる充実～通年議会の導入と議会活動評価モデルの取組～」が最優秀議会改革賞に選ばれました。

本市議会は、議会基本条例に基づき、実践と検証を繰り返しながら、常に議会改革の歩みを進めてきました。

この賞をいただくことができましたのも、議会改革の取組について、市民の皆様にご理解いただき、負託していただいたからであると考えております。

この度の受賞を励みとし、今後も、市民の負託に応え続けていくため、市民の多様な意見を反映する自由闊達な討議空間としての議会づくりを進めていきます。



マニフェスト大賞とは…地方自治体の議会、首長、市民等による地域の民主主義向上に資する優れた取組を募集し、表彰するものです。これにより優れた取組が広く知られ互いに競い合うようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げることを目的としています。主催はマニフェスト大賞実行委員会（ローカル・マニフェスト推進連盟など）。

広報広聴委員会

委員 長	村澤 智
副委員 長	高橋 義人
委員	小畑 匠
	奥脇 康夫
	内海 基
	小倉孝太郎
	原田 俊広
	丸山さよ子

編集後記

市民との意見交換会において、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございます。これら貴重なご意見を議会全体で情報共有し、後日調査等を含めた報告書を作成しました。ぜひご覧いただき、ご意見やご感想をお寄せいただきたいと思います。

小倉孝太郎